

平成30年度自己点検・評価報告書

学校法人臼井学園
北陸ビジネス福祉専門学校

1. 学校の教育目標

ビジネス社会及び医療・福祉・介護に役立つ専門的知識と技術を授け、豊かな教養を培うとともに、創造性に富む人間形成をはかり、良識あるビジネススペシャリストや介護福祉士及び福祉社会に役立つ人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り込むことが必要な目標や計画

*平成30年度事業計画に基づき、健全な学校運営、教育活動および個性の輝く学生支援のために、次の項目について、点検・評価項目の見直し等を行い、関係部署（各学科・各委員会・事務局）との連携を強化する。また、定期的に計画（P）・実行（D）・点検（C）・分析改善（A）を行う。

- ・養成施設等の自己点検・評価について
- ・教職員の資質向上について
- ・学生による学校評価調査について
- ・個人情報管理の徹底について
- ・情報公開について

3. 点検項目の達成及び取り組み状況

・点検・評価期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日に各項目の点検を行い、評価を実施した。

・評価項目：

- (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務
(9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流

・評価基準（4段階評価）

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・目的

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|-----|--|----|----------------------------------|
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | 4 | 入学生オリエンテーション資料作成 |
| 2 | 学校における職業教育の特色は何か | 4 | 各学科で特色ある教育を実施 学校案内、HPに掲載 |
| 3 | 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3 | 教職員による将来構想プレゼンを実施 |
| 4 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 3 | 入学生オリエンテーション資料で説明 |
| 5 | 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 | 業界のニーズに合った方向づけを行い、講師を招聘しての講座等を実施 |

課題：将来構想について、3か年計画・5年計画等を明確にし、さらに長期計画を設定する。
 今後の対策：社会のニーズを的確に認識し、将来構想（中期計画・長期計画）を設定する。
 特記事項：

(2) 学校運営

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|-----|--|----|-------------------------|
| 1 | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 経営会議・委員会等を実施し策定 |
| 2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | 経営会議・委員会等を実施し、年間事業計画を策定 |
| 3 | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 | 学校組織図により明確化している |
| 4 | 人事、給与等に関する規定等は整備されているか | 4 | 経営会議の実施、就業規則の規定による |
| 5 | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 | 経営会議、教務委員会の実施 |
| 6 | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | 管理運営委員会の実施 |
| 7 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 2 | ホームページでの公開を取組中 |
| 8 | 情報のシステム化等による業務の効率化が図られているか | 3 | 順次、効率化を図っていく |

課題：教育活動等の情報公開について、ホームページでの公開を行う。
 今後の対策：平成30年度の事業報告等をホームページで公開する。
 情報のシステム化について、効率化に向けて研究を進めていく。
 特記事項：

(3) 教育活動

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|-----|---|----|--------------------|
| 1 | 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか | 4 | 養成指定施設としての基準により策定 |
| 2 | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | 養成指定施設としての基準により明確化 |
| 3 | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | 養成指定施設としての基準に準ずる |
| 4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | 最新情報を組み入れて特別講座等を実施 |
| 5 | 関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか | 3 | 必要に応じて検討 |
| 6 | 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 3 | 福祉施設・病院等での実習を実施 |
| 7 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | FDの実施による評価 |

| | | | |
|--|---|---|--------------------------|
| 8 | 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 3 | 体制を検討 |
| 9 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 | 学科で判定基準を設定し、進級・卒業判定会議を実施 |
| 10 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 | 全員取得に向けて対策講座も実施 |
| 11 | 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 養成指定施設としての基準に準ずる |
| 12 | 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 | 業界からの派遣講師による授業を実施 |
| 13 | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | 加盟団体等の研修に参加 |
| 14 | 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 | 勉強会等の実施、研修会に参加 |
| <p>課題：外部関係者評価の取り入れを推進することが必要である。 今後の対策：職業教育等に対する外部関係者評価の取り入れを推進する。 特記事項：</p> | | | |

(4) 学修成果

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|--|--|----|-----------------------|
| 1 | 就職率の向上が図られているか | 4 | 全員就職を目標に、委員会や担任を中心に指導 |
| 2 | 資格取得率の向上が図られているか | 4 | 対策授業・補習を実施 |
| 3 | 退学率の低減が図られているか | 4 | 担任による定期的な個別面談 |
| 4 | 卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 | HPトピックス等で紹介・評価 |
| 5 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | 卒業生アンケートでフォローアップ |
| <p>課題： 今後の対策： 特記事項：教務委員会では、他学科と連携しながら、就職・資格取得、学生動向等について、お互いの向上に向けて取り組んでいる。</p> | | | |

(5) 学生支援

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|-----|-------------------------|----|-------------------------|
| 1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 各種就職セミナーの実施と求人情報等の提供 |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 定期的個別面談や個別相談の適宜実施 |
| 3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | 各種奨学金制度の相談、学費免除や分納制度の実施 |

| | | | |
|--|---|---|-------------------|
| 4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 | 定期健康診断の実施 |
| 5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | 学生行事やボランティア活動への支援 |
| 6 | 学生の生活環境への支援は行われているか | 3 | 校舎施設設備の営繕、アパートの紹介 |
| 7 | 保護者と適切に連携しているか | 4 | 保護者会・授業参観の実施 |
| 8 | 卒業生への支援体制はあるか | 4 | 卒業生アンケートを実施しフォロー |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | 適宜対応 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | 高校への出前講座の実施 |
| <p>課題：学生の学校内での生活環境（設備等の修繕関係）については支障をきたさないよう早めの応が必要である。 今後の対策：設備等の定期点検を行っているが、さらに日々の点検をきめ細かに行う。 特記事項：</p> | | | |

(6) 教育環境

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|--|--|----|----------------------|
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 | より実践的な授業に向けた設備の充実を検討 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 | 年間計画により学外実習を実施 |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 4 | 定期的な避難訓練と設備点検の実施 |
| <p>課題：設備の耐用年数を考慮した設備整備計画が必要である。 今後の対策：複数年度にわたる設備整備計画を検討する。 特記事項：</p> | | | |

(7) 学生の受入れ募集

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|---|--------------------------|----|--|
| 1 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 4 | 定期的に応援委員会を実施、高校訪問・体験入学の実施、進学ガイダンスへの参加、広報媒体の効率的活用 |
| 2 | 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか | 4 | 就職・資格・学生動向を学校訪問等で説明 |
| 3 | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 | 他校等の学納金と比較検討 |
| <p>課題：広報費について、より費用対効果を吟味して、学生募集活動に活かすことが必要である。 今後の対策：少子化の中で、実績のある教育成果がより伝わるよう広報媒体の適宜検討し、学生の受入れ実績が上がるように対策を行う。 特記事項：</p> | | | |

(8) 財務

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|--|--------------------------|----|------------------------------|
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 | 適正 |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 月ごとに会計事務所からの計算書により収支の進捗状況を検査 |
| 3 | 財務状況について会計監査が適正に行われているか | 4 | 監事による監査 |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 3 | 平成30年度分からHPで公開 |
| 課題： 今後の対策：より広く一般に公開するため、平成30年度分からホームページで財務情報を公開する。 特記事項： | | | |

(9) 法令等の遵守

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|--|-------------------------------|----|------------------------|
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 養成施設指定の自己点検表・独自の点検表で点検 |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | 研修を行い、セキュリティ対策を実施 |
| 3 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | 職員会議・管理運営委委員会で検証 |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 3 | 平成30年度分からHPで公開 |
| 課題： 今後の対策：より広く一般に公開するため、平成30年度分からホームページで自己点検評価報告を公開する。 特記事項： | | | |

(10) 社会貢献・地域貢献

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|--|---|----|-----------------------------|
| 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3 | 学科によっては、学校施設を活用して社会人対象講座を実施 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 4 | ボランティア活動保険にも加入し支援 |
| 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 学科によっては、教育訓練生を受託 |
| 課題： 今後の対策：校舎施設・設備を活用して、地域に根差した健康・福祉関連講座の実施を検討する。 特記事項： | | | |

(11) 国際交流

| No. | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|-----|------------------------------------|----|-----------------------|
| 1 | 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか | 4 | 平成31年度から留学生を受入れ |
| 2 | 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか | | 平成31年度から留学生を受入れに向けて準備 |
| 3 | 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | | 平成31年度から留学生を受入れに向けて準備 |
| 4 | 学修成果が国内外で評価される取組を行っているか | | 平成31年度から留学生を受入れに向けて準備 |

課題：
今後の対策：
特記事項：

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

業界団体、関係施設、卒業生等の学校関係者を委員として学校から選任し、学校関係者評価委員会を設置し、学校訪問や委員会の等を通じて、自己点検結果について評価するとともに、教職員と共通理解をしながら、学校の改善のために助言・支援を行う。

(平成32年度から評価を確実に実施する計画であり、そのために平成31年度に委員の選任を行う予定である。)